

2004年 松江

主催：松江・能を知る集い／共催：松江市、松江市法吉公民館

能を知る集い

体で感じる能の世界

講師：^{つき}槻^{たく}宅^{さとし}聡 能楽森田流笛方／安来市出身



2004年1月24日[±] 2月21日[±] 3月6日[±] の全3回 13:30~15:30

松江市法吉公民館^{ほつき} 研修室 参加無料／定員30名 [1回または2回のみ参加もできます]

[参加申し込み方法等、詳しくは裏面をご覧ください]



参加無料／定員30名

【参加申し込み方法】

fax、電子メール、はがきで下記までお申し込みください。それぞれ、①タイトル「能を知る集い」参加希望、②氏名、③郵便番号・住所、および④電話・fax番号、メールアドレス等確実な連絡方法を記載してください。一度に複数の方のお申し込みも可能です。また、3回連続の参加が原則ですが、1回または2回のみ参加も可能です。申し込み多数の場合、抽選いたします。参加決定者には1月21日(水)までご連絡いたします。

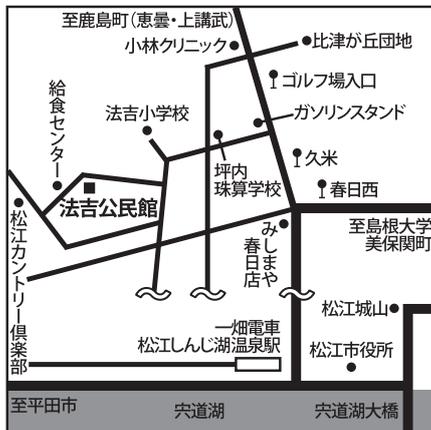
応募締め切り：2004年1月20日(火) 必着

お申し込み先：松江市観光文化課

〒690-8540 松江市末次町86

【電話】0852-55-5293 【fax】0852-55-5564

【電子メール】kankou@city.matsue.shimane.jp



会場：**法吉公民館** 研修室

松江市比津町308-4 【電話】0852-21-4966

P 駐車場あり

松江市営バス北循環線「春日西」下車、徒歩20分

一畑バス「久米」「ゴルフ場入口」下車、徒歩10分

●一畑バスは、下記の行先表示の便をご利用下さい。

「93法吉ループ(右まわり)」「94法吉ループ(左まわり)」

「51恵曇」「52片匂」「53古浦」「54高専」「50御津經由上講武」

「59生馬が丘」および恵曇・上講武方面発の「松江駅・メッセ」

主催：松江・能を知る集い

【電話】03-5313-3405 【fax】03-5313-3488

【電子メール】tktk@u01.gate01.com

共催：松江市、松江市法吉公民館

能楽は、日本の古典芸能の代表格であり、また世界的にも評価の高い舞台芸術です。しかし「古典」であるがゆえに敬遠され、その本当の面白さが知られずにいるとしたらたいへん残念なことです。この集いでは、^{はやし}囃子方の立場から「音(声)」と「身体」について解説し、みなさんとごいっしょに簡単な所作や演奏を体験してみたいと思います。古典芸能のなかに隠された要素が、現代の私たちの身体感覚や息づかとも密接な関係があることを、ごいっしょに発見できることを期待しております。

講師：**槻宅 聡**

つきたく・さとし……能楽森田流笛方。社団法人能楽協会会員。1961年、島根県安来市荒島町生まれ。島根県立松江南高等学校卒業。1993年、国立能楽堂第二期研修修了。故・寺井啓之(重要無形文化財総合指定)、中谷明(重要無形文化財総合指定)に師事。1996年1月、「^{おき}翁」を初演。2003年12月、「^{どうしようし}道成寺」を初演。

【ホームページ】<http://hw001.gate01.com/tktk/noh/>

1……………**1月24日** 13:30~15:30

【小講座】

能の役者——「役」と「流儀」について

「能楽師」という仕事／「座」から「流儀」へ／「五流」と「三役」「座付き」／「番組」

【ワークショップ】

能の声と音

コミとツブ(粒)——集中と解放／掛け声／雨だれ拍子(パルス)から拍節(八拍子)へ

2……………**2月21日** 13:30~15:30

【小講座】

能の舞台空間

本舞台／柱／橋掛／揚幕／鏡の間／楽屋

【ワークショップ】

能の身体感覚①

座ること・囃子と地謡／カマエとハコビ、すり足／音(声)と歩行の関係——ハヤスとはいかなることか？

3……………**3月6日** 13:30~15:30

【小講座】

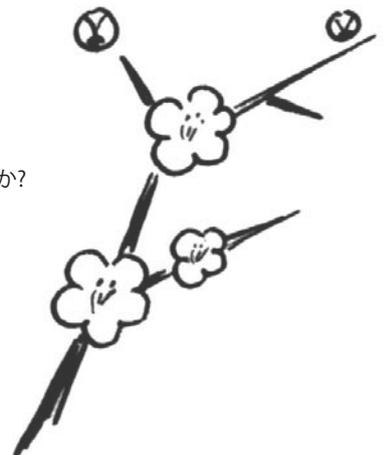
能の音楽

謡と四拍子(笛・小鼓・大鼓・太鼓)／謡本と手附

【ワークショップ】

能の身体感覚②

笛のアシライで歩いてみる／掛声と笛のアシライで歩いてみる



【準備するもの】

第2回(2月21日)と第3回(3月6日)は、^{たび}白足袋をご用意ください。ない場合は、白い靴下で代用することもできます。

